

# 図書室だより

vol.125

中央大学高校図書室

## ☆ 映像化された作品を紹介します ☆

映画化、ドラマ化された作品の原作を読んでもみませんか？

図書室にあります。ぜひ手に取ってみてください。

『何者』 朝井リョウ 著 新潮文庫 直木賞受賞作

何気なく使っているツイッターにつづられる本音。「あなたって何者？」

まだ先に思える就活が怖くなっちゃうかもしれないけれど…今のうちに覗いてみて！

『校閲ガール』 宮木あや子 著 角川文庫

「校閲」って何？出版業界のあれこれがわかって、読むととても元気になる！

『この世界の片隅に』 こうの史代 著 双葉社 第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞作品

第二次世界大戦下の広島・呉で前向きに生きる人々の日常を描くコミック。

ふざけたり、おちょこちよいだったり、笑顔もあるごく普通の生活と、いつの間にかそれが壊されていく怖さが背中合わせにある。

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』 七月隆文 著 宝島社文庫

京都を舞台に奇跡の運命で結ばれた二人。彼女の秘密を知ったとき…。泣ける恋愛小説。

『海賊とよばれた男』 百田尚樹 著 講談社

出光興産の創業者がモデルの、熱い男のロマンあふれるかつこいおいオジサンの話。

だまされたと思って読んでみて！

『沈黙』 遠藤周作 著 新潮文庫

キリシタン弾圧の江戸時代初期に、日本に潜入したポルトガル人司祭。

日本人信徒たちを救うために敢えて踏み絵を踏んだ司祭の心理を描く。神の存在とは。

『ハルチカ』シリーズ 初野晴 著 角川文庫 『退出ゲーム』『初恋ソムリエ』『空想オルガン』『千年ジュリエット』

弱小吹奏楽部員のハルタとチカが、様々な日常の謎を解決する青春ミステリー。

最新作『惑星カロン』間もなく出ます！

イキオシ!

## ☆図書委員からのオススメ☆

『阪急電車』 有川浩 著 幻冬舎文庫 B913-ア

『電車に一人で乗っている人は、大抵無表情でぼんやりしている。視線は外の景色か吊り広告、あるいは車内としてもなにとはなしに他人と目の合うのを避けて視線をさまよわせているものだ。』

そうでなければ車内の暇つぶし定番の読書か音楽か携帯か。

だから、一人で、特に暇つぶしもせず、表情豊かな人はとても目立つ』

関西圏では大きな私鉄グループとなる阪急は、えんじ色の車体にレトロな内装が個性的な車両を各沿線に走らせており、鉄道マニアの人気の高いことはもちろん若い女性からも「かわいい」と

好評を博している。女性観光客などは「オシャレ！」とびっくりするほどだ。

そんな阪急電車各線の中でも全国的知名度が低いであろう今津線を舞台とした物語である。

片道わずか15分のローカル線で起きる小さな奇跡の数々。

乗り合わせただけの乗客の人生が少しずつ交差し、やがて希望の物語が紡がれる。

恋の始まり、別れの兆し、途中下車。

人数分のドラマを乗せた電車はどこまでもは続かない線路を走っていく。

『図書館戦争』や『植物図鑑』で知られる有川浩による、ほっこり胸キュンの傑作小説。